

はじめています。 次世代環境住宅

今、私たちはエネルギー革命の真っただ中にいます。地球環境問題の深刻度は待ったなしの事態となっています。これからの社会が持続可能な仕組みへと転換していくことが必要で、私たち一人ひとりにとってもそれは大きなチャレンジです。住環境は其中でも中核を担うほどの大きな分野です。それぞれの住宅にとって一次エネルギーをいかに減らすのか、住宅建設に携わるものの一人としてこの課題に正面から取り組み、そして行動が求められていると考えています。

次世代環境住宅とは.....

これからの（次世代の）住宅にとって何が大切なのか、と問われれば「少ない一次エネルギーで快適な住環境を創り出す」と答えます。もちろん、耐震性、耐久性、空間の快適性や機能性の高さなども大切な要素で、それらのことが同時に備わっていることは当然でしょう。しかし、現状では省エネ工法にはまだまだ関心が高まってはいません。建設する場の自然条件を分析統合して建築化するというスローでローテクの次世代環境住宅。これこそ次世代に求められている住宅設計です。

次世代環境住宅の条件

- 1.年間を通して快適ゾーンを維持できること
- 2.それが、少ないエネルギーで可能なこと

基本は建物の断熱性と気密性を高めること。何よりこれにより少ないエネルギーでの冷暖房が可能となります。よくどんな暖房器具がいいのでしょうか、と聞かれますが断熱性と気密性が高いと機器は、あえて言えば何でも良いくらいです。（開放的なプランと個室型のプランでは空調の解法が違ってきます）

- 3.新鮮空気環境をどの部屋も維持できること

これは換気の話です。窓を開ければ換気できる、というのはもちろんその通りですが、実際に窓を開けての生活というのは意外と少ないものです。室内の空気は目に見えないので実感が薄いのですが意外と汚れています。室内空気を新鮮な空気を保つのはなかなか難しいことです。実はこれが一番現代的な課題と行っても良いくらいです。

- 4.それが、楽にメンテできること
- 5.古くなっても更新も容易なこと



有限会社
青山建築計画事務所

TEL 076-435-6201

AOYAMA
ARCHITECT +
ASSOCIATES

青山善嗣 Yoshitsugu Aoyama

(社)日本建築家協会 登録建築家
パッシブハウス・J 省エネ建築診断士
(NPO法人)新住協 正会員
CASBEE戸建 登録評価員
富山県認定 県産材アドバイザー
(NPO法人)とやまの木で家をつくる会 理事